

## 予告企画

2015年度 (一社)日本保険薬局協会

# NPhA 薬剤師海外研修

ワンランク上のエグゼクティブな市場調査・研修企画  
《英国 PGD と医療制度研修プログラム ロンドン大学薬学校》



City of London



ロンドン大学本部 (Senate House)



ロンドン大学薬学校

### 《この研修のお勧め》

(一社)日本保険薬局協会では、会員企業の経営者の方々を対象に、英国における医療・薬業界市場調査として、PGD の実情を視察することをメインテーマに、欧州各国の薬剤事情を視察する研修企画をご案内致します。  
主テーマである「PGD」とは、医師と薬剤師の間で「プロトコル(決め事)」を作り書名をして、その範囲で医療関係者(薬剤師、看護師などの医療関係者)がある一定の患者さんのグループの共同によるある程度広い範囲で調剤作業を行うことです。薬剤師の使命も重くなりますが、専門的知識が要求され、薬剤師の業務・権限拡大への取り組みについて大学、医療機関、行政、薬剤師協会などで研修、視察を行います。英国で最も薬学教育の熱心なロンドン大学薬学校(The School of Pharmacy, University of London)とその関連医療機関の十分な協力の元に作成されました研修プログラムです。他の海外研修経験者、管理職、経営者にも適した研修内容です。皆様のご参加をお待ちしております。

### 《参加ご案内》

#### 旅行期間

2015年11月3日(火)~11月10日(火)【6泊8日】を予定しております。

#### 視察都市

研修Aコース：ロンドン(英国)及びミュンヘン(ドイツ)  
研修Bコース：ロンドン(英国)及びパリ(フランス)

希望者の多いコースで実施します。

#### 旅行代金

797,000円【エコノミークラス/2名1室ご利用の場合のお1人様代金です】

- 上記旅行代金には、燃油サーチャージ、現地空港諸税、羽田空港施設使用料は含まれておりません。
- お一人部屋(シングルルーム)、ビジネスクラス、プレミアム・エコノミークラスは別途追加代金にてご利用頂けます。

### 《ロンドン大学・薬学校での研修と視察訪問先》

#### ロンドン大学薬学校

The School of Pharmacy, University of London

スクール・オブ・ファーマシー(ロンドン大学)は薬学教育・研究を専門とした英国で唯一の独立した学校で、1842開設、1949年に公立のロンドン大学として登録。国内・国外ともに高い評価を受けており、卒業生には薬剤師への道が開かれています。プログラムは「薬局実務という状況の中で薬学の教育・学習・理解を統合する」ことを目的としており、コース終了が近づくと生徒は専門的オプションか研究プロジェクトを始めるか、または海外留学で学ぶかを選びます。多くの学生はヨーロッパ諸国、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなどで一定期間、学びます。薬化学・生物化学科、薬理学科、薬剤学科そしてブラクティス・アンド・ポリシー学科の4つの学科があり、それぞれの学科が専門的な施設を備えています。カレッジはロンドンの中心地で大学街であるブルームズベリーに位置しており、どこへでもアクセスが便利な立地である。イギリスでは4年生の薬学部教育の後、1年間の実務研修を修了すると薬剤師国家試験の受験資格が与えられる。・薬学生数:1,355人(大学院:625)学部:(4) Pharmaceutical and Biological Chemistry (製薬・生物学的化学) Pharmacology (薬理学), Pharmaceutics (医薬), Practice and Policy (実行と方針)

#### 医療・薬学界市場調査のトピックス

1. イギリス・ドイツ・フランスの健康保険制度、ジェネリック薬品の普及度と薬(局)剤師へのインセンティブ。
2. PGDにおける薬剤師の仕事の範囲の拡大とその実情
3. ヨーロッパの薬局の形態と日本との比較
4. 薬剤師協会訪問
5. イギリス NHS(National Health Service)を訪問し、イギリスの医療の仕組み、薬剤師の役割などの視察。

#### 主な研修・視察先

1. ロンドン大学薬学校訪問 質疑応答
2. NHS(National Health Service(国民医療サービス)訪問
3. 附属関連病院 Guy's Hospital 訪問
4. St. Thomas Hospital 訪問
5. ナイチンゲール博物館見学(地下、入場料6ポンド)
6. 英国薬剤師協会(Royal Pharmacy Society of Great Britain 訪問  
・専門教育とサポート ・薬業に関する広報活動
7. DH=Department of Health(英国保健省)訪問
8. 調剤薬局 Spring Pharmacy(Hexon Street)訪問

#### 添乗員・通訳紹介

鈴木 雄 氏

東京外国語大学卒。大手製薬メーカーの海外研修を25年担当。欧州・米国の薬学・医学に精通。ロンドン大学、キングス・カレッジ・ロンドン、米国ラトガーズ大学、ワシントン大学など大学薬学部の研修通訳として20年以上の経験を持つ。研修・視察、コーディネーター・通訳の同行は300回を超える。ご参加の皆様が今回の研修目的を十分に達成されますよう、全行程においてご指導致します。

研修企画：(一社)日本保険薬局協会 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-10 八重洲名古屋ビル8F TEL:03-3243-1075

研修協力：ロンドン大学薬学校・同大学薬学部 (The School of Pharmacy, University of London)

旅行企画・実施：株式会社 国際旅行社(観光庁長官登録旅行業第40号) (社)日本旅行業協会正会員 TEL:03-3214-4821

《研修日程表(予定)》 研修 A コース(ロンドン+ミュンヘン) & 研修 B コース(ロンドン+パリ)

月日	都市名	時刻	交通機関	研修 A コース & B コース共通日程 (第 1 日～第 4 日)	朝食	昼食	夕食				
1. 2015 年 11/03 (火)	羽田空港(国際線) 羽田(HND) 発 ロンドン(LHR) 着	11:35 15:05	JL043 専用車	集合・搭乗手続後、『オリエンテーションセミナー&研修ブリーフィング』実施 日本航空 043 便にてロンドンへ【飛行時間:12 時間 30 分】 -----日付変更線----- ロンドン・ヒースロー空港到着後、ホテルへ 夕食:ホテルにて ロンドン泊<Millennium Gloucester London Hotel Kensington>		機内					
2. 11/04 (水)	ロンドン滞在	午前 午後	専用車 専用車	<ロンドン大学・薬学校にて終日研修・視察> ご挨拶とレクチャー 【講義 1】ロンドン大学薬学部について 【講義 2】英国における薬学カリキュラムと薬剤師教育について 【講義 3】薬剤師の卒後の生涯教育について = 医師との共同で行う薬剤師の活動の範囲について 【オープンディスカッション】学長、薬剤師を囲んで。【プログラム修了式】 【訪問 1】ロンドン大学薬学部訪問 【質疑応答】 ロンドン泊<Millennium Gloucester London Hotel Kensington>	○	○	○				
3. 11/05 (木)	ロンドン滞在	午前 午後	専用車	<終日研修・視察> 【訪問 2】NHS=National Health Service(国民医療サービス)訪問 *「イギリスにおける保険医療制度について」 *「PGD プログラムについて」 *「ジェネリック薬品の普及度」など説明を受ける 【訪問 3】附属関連病院 Guy's Hospital 訪問 *「薬剤師による薬の処方、PGD 契約及びその他のオプションの説明と解説」 *「PGD 契約に基づき医師のもとで薬剤師の活躍できる範囲とさらなる共同治療範囲の拡大への道筋」 【訪問 4】St. Thomas Hospital 訪問(Inpatient, Outpatient Pharmacy 見学) 【訪問 5】ナイチンゲール博物館の見学 【訪問 6】英国薬剤師協会訪問(Royal Pharmacy Society of Great Britain) * 専門教育とサポート * 薬業に関する広報活動 ロンドン泊<Millennium Gloucester London Hotel Kensington>	○	○	○				
4. 11/06 (金)	ロンドン滞在	午前 午後	専用車 専用車	朝食、ホテルにて <半日研修・視察> 【訪問 7】DH=Department of Health(英国保健省)訪問 *「イギリスの保険制度とプライマリーケアの促進=医療費削減による経済効果」 【訪問 8】Hexon Street の Spring Pharmacy 訪問 <午後:ロンドン半日市内観光> ・バッキンガム宮殿 ・ロンドン塔 ・ウェストミンスター寺院など 夕食:市内レストランにて(4 コースメニュー) ロンドン泊<Millennium Gloucester London Hotel Kensington>	○	○	○				
5. 11/07 (土)	<b>研修 A コース(ロンドン + ミュンヘン) 【又は】 研修 B コース(ロンドン + パリ)</b>				○	×	○				
	ロンドン(LHR) 発 ミュンヘン 着 【ミュンヘン泊】	09:30 12:30	BA950 専用車	BA950 便にてミュンヘンへ 到着後、薬局視察訪問 ■チェーン薬局 ■個人薬局 Maritim Hotel Muenchen 泊	ロンドン 発 (St.Pancras 駅) パリ(Nord 駅) 着 【パリ泊】	08:31 11:47	Euro- star 専用車	ユーロスターにてパリへ 到着後、薬局視察訪問 ■チェーン薬局 ■個人薬局 Pullman Paris Montparnasse 泊			
6. 11/08 (日)	ミュンヘン ローデンプルク泊	終日 18:00 20:40	専用車	終日自由視察 <オプションツアーなど> ツアー後、ローデンプルクへ Hotel Tilman Riemenschneider 【パリ泊】	パリ滞在 終日	終日		終日自由視察 <オプションツアーなど> Pullman Paris Montparnasse 泊	○	×	×
7. 11/09 (月)	ローデンプルク ハイデルベルク フランクフルト 発	19:10	徒歩 専用車 専用車	ローデンプルク旧市街見学 観光後、ハイデルベルクへ ハイデルベルク市内観光 観光後、フランクフルト空港へ 日本航空 408 便にて成田へ ～機内泊～【11 時間 30 分】	パリ パリ(CDG) 発	18:55	専用車 JL046	出発までパリ市内自由視察 (公共交通機関等のご利用で、観光・ショッピングなどの自由散策) パリ・ドゴール空港へ 日本航空 046 便にて羽田へ ～機内泊～【12 時間 00 分】	○	×	機内
8. 11/10 (火)	成田空港 着	14:40		成田空港・第 2 到着後、解散 -研修終了-	羽田国際線 着	14:55		羽田空港・国際線到着後、解散 -研修終了-	機内		

【備考】 発着時間・交通機関等は変更になる事があります。又研修先・視察先の都合により訪問先・訪問日時が変更になる事もございますので予めご了承下さい。



**NHS=National Health Service (国民保健サービス) 訪問**

NHS(National Health Service)とは、イギリスの国営医療サービス事業をさし、患者の医療ニーズに対して公平なサービスを提供することを目的に 1948 年に設立され現在も運営されている。利用者の健康リスクや経済的な支払い能力にかかわらず利用が可能であり、基本的に無料である。又、外国人も合法的にイギリスに滞在していると認定を受けられれば、NHS のサービスを利用することが出来る。

**The Department of Health (DH) 英国保健省 訪問**



保健省(DH)は、英国の人々の健康と福祉の改善をする為に設立された。DHの主な仕事と活動は下記の通り。ここではPGDに関する質疑応答。  
【英国保健省の仕事の目的】 保健省の仕事は、およそ3つの戦略的な目的を中心に活動している。1. 健康に関する手助け: 全ての人がより良い健康と幸福に独立して生活し生きていくための、それらのサービスを与える公的機関であり、積極的に国民の健康不平等に取り組む事。2. 全てのより良い世話: 人々がそれを必要とする時そして生活し、安全かつ有効な世話を提供する最高の健康と社会的な世話提供し、健康で安全に生活する公的な権限を与えること。3. 全ての人のためのより良い価値: 入手可能で効果的で、持続可能なサービスを提供しより広く経済と国に貢献すること。

《当研修企画書(ロンドンコース)のお知らせについて》

ロンドンコースの研修企画書とお申込み開始に付きましては、6月上旬に再度お知らせする予定です。

《お問合せ先》【旅行企画・実施】

株式会社 国際旅行社 (観光庁長官登録旅行業第 40 号)  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル B1F  
TEL:03-3214-4821 / FAX:03-3214-4867 / 担当: 大澤